

各ゼミの内容

暫定版 2011/03/30

太字は2011年度対応

表1 各担当教員のゼミ内容(2010年度), 面談時間(順不同)

教員氏名	ゼミ内容, 面談時間等
佐藤 至子	<p>内 容：児童青年期の心の問題について、さまざまな角度から考えていくことを課題にしたい。前期は各自が興味を持つことについてレポートし、受講者相互の自由で積極的なディスカッションを中心にすすめる。後期は卒業論文作成に向け、具体的なテーマをそれぞれが絞り込み、関連領域についてさらに学ぶこととする。(旧)</p>
栗林 克匡	<p>内 容：心理学の論文読解力と基礎的研究能力の育成： 社会心理学に関する研究論文(主に英文)の講読と討論を通して、英文読解力の育成、およびテーマの立て方や研究方法などについて理解を深める。事前にHPを見てゼミの活動を確認しておくこと。先着順に個別面談。心理学における関心事について聞きます。(旧)</p> <p>面談時間：①3月31日14:45~16:00 ②4月1日15:00~16:00 ③4月4日12:00-13:30</p> <p>場 所：第1研究棟4階・栗林研究室(I-410)</p>
後藤 恵美子	<p>内 容：保育臨床の世界についての理解を深め、研究テーマを探る：乳幼児期の子どもたちを視野に入れて、日常の家庭や保育の場の中で、様々な行動特性をもつ子どもたちと周囲の大人たちが、生き生きと活動できるような生活・保育環境についての理解を深めることをねらいとする。(旧)</p>
柴田 利男	<p>内 容：発達と健康の行動学： 発達・健康心理学分野における、研究プロセスの理解と論文読解力の養成をめざす。取り上げる主なテーマは、幼児期・児童期および青年期における社会性の発達、感情と身体・健康などである。(旧)</p> <p>注意事項：シラバスをよく読んでおくこと。</p>
田澤 安弘	<p>内 容：社会・文化的な視点を取り入れたカウンセリングを実践研究しています。精神医療、スクールカウンセリング、私設心理相談室での開業実践などに興味があります。ゼミは毎年、前期は文献を講読し、後期は卒論テーマの決定に向けた論文読みを行います。今年度の前期は、横湯園子「教育臨床心理学」東京大学出版会、を読みます。スクールカウンセリングあるいは教育臨床系の本です。</p>
鴨澤 あかね	<p>内 容：臨床心理学の実践的なアプローチについて、思春期・青年期および成人を対象としたものを中心に理解を深め、それぞれの興味関心を共有しつつ、さらに広げていくことをめざします。具体的には、担当教員による各種理論の紹介や文献購読による知識の修得、グループでの討論、ロールプレイなどの体験的な学習を通じ、個人心理療法、集団心理療法、認知行動療法などの技法、研究方法を学びます。(旧) 当日資料あり</p>

<p>豊村 和真</p>	<p>内 容：福祉心理学研究に関する基礎的能力の向上を目指す： 心理学研究法で習得した知識を再確認し，さらに高度な研究法や分析法を習得し，次の論文通読に耐える知識を身につける。（旧）</p> <p>注意：HPの専門演習 I の説明参照（ホームページ～その他～学科資料～「専門演習 I の説明（豊村分）」へとたどってください）</p> <p>http://www.ipc.hokusei.ac.jp/~z00105/_kamoku/zemi/ori_zemi3_11.htm</p>
<p>牧田 浩一</p>	<p>内 容：本演習では，卒業論文の作成を視野に入れつつ臨床心理学のさまざまなテーマについて学習することをねらいとする。前期では，担当教員が指定する文献を講読していくこととする。後期では，受講者が興味関心をもった臨床心理学に関する学術論文の講読と討論を行い，卒業論文作成に向けた基礎作りをする。（旧）</p>